

はくさんじんじゃ けやき き
白山神社の櫟の木

- ◇ 指定日 昭和59年1月23日
- ◇ 所在地 和蒔
- ◇ 所有者 個人

田老和蒔の白山神社境内にあるケヤキは、幹の周囲約3.8m、幹の直径約1.21mを測り、推定樹齢は約220年とされています。

高さは約22mで、小高いところにあるのでよく目立ちます。

ケヤキは日本の代表的な落葉樹の一つで、漢字では櫟、古名のツキには槻の字が使われます。

樹皮は灰白色で平滑に近く、高齢の木は鱗片状にはげ、雲紋状の凹凸を示します。幹の上部から扇を広げたような形に枝を張った姿が美しく、街路樹や庭園樹として植えられています。

各地に巨樹や名木があり、丘陵地や岩盤が露出する急傾斜地などに群落をつくることがあります。

